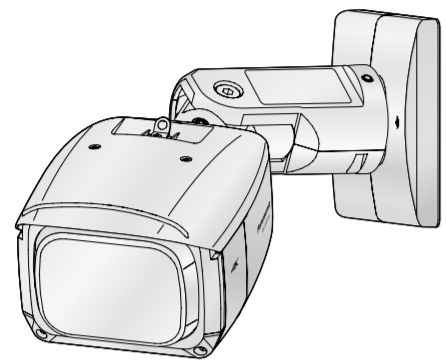


### ネットワークカメラ

品番 **WV-SPV781LJ**



- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

## パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

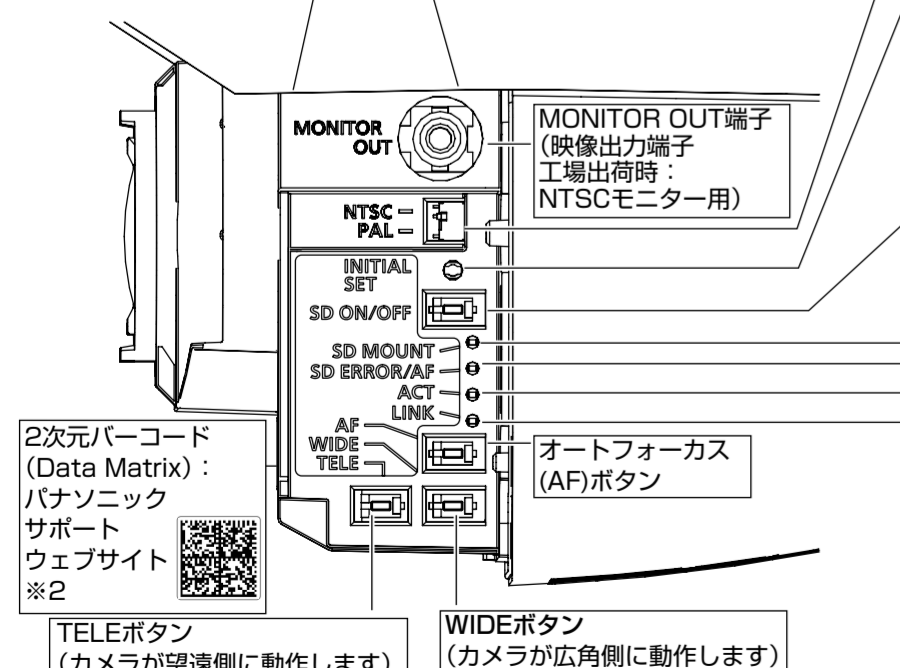
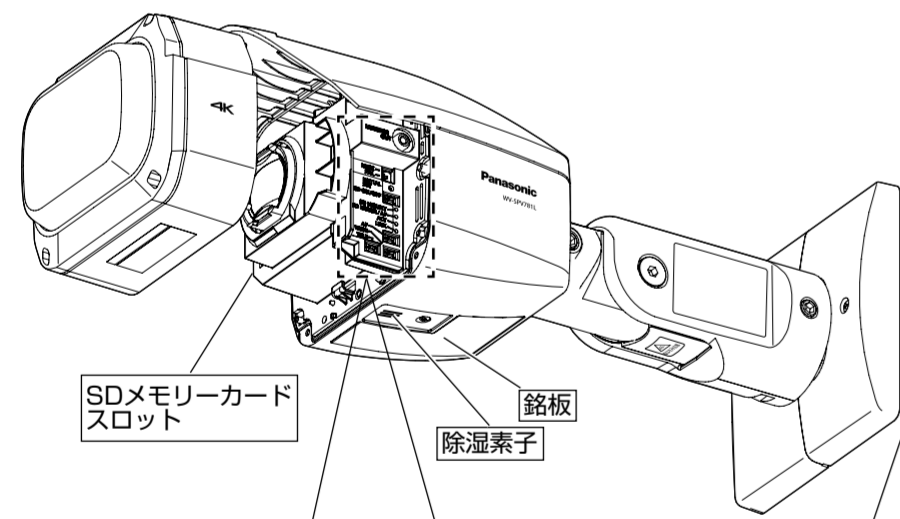
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

PGQX1820WA Cs0615-3109 Printed in China

## 各部の名前

本機の各部の名前は以下のようになっています。設置、調整時に参照してください。



※1 SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。  
 ※2 Data Matrixは、パナソニックサポートサイトのWebアドレスを2次元バーコードにしたものです。読取アプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときは下記URLを直接入力してください。  
[http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr\\_sp\\_select.html](http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html)

## 付属品をご確認ください

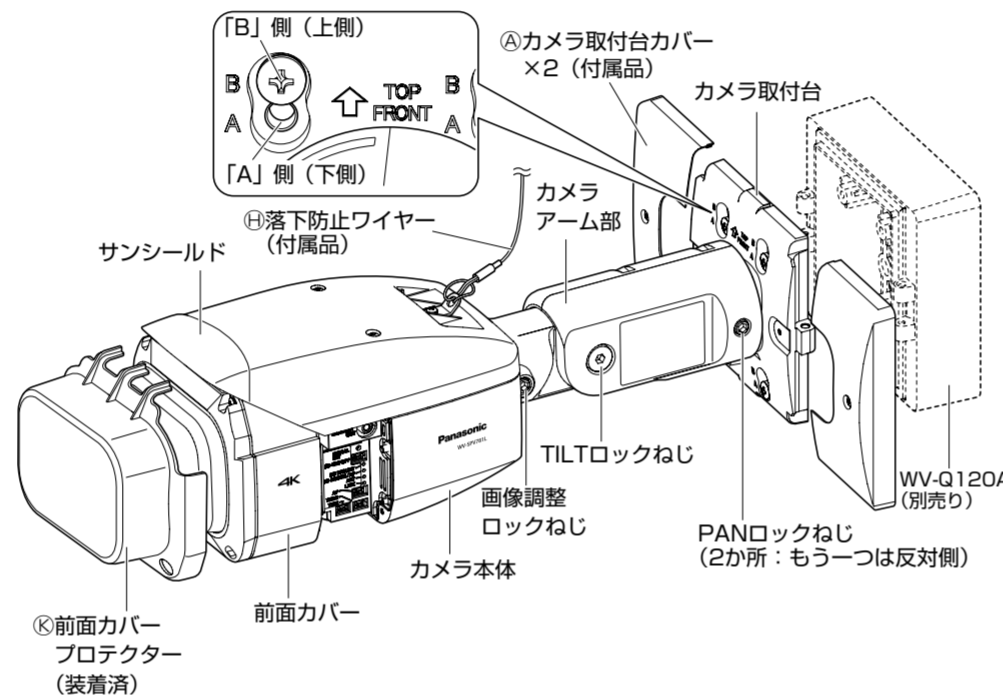
取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編(本書).....1式  
 保証書.....1式 CD-ROM \*1.....1枚  
 コードラベル \*2.....1枚 カメラ取扱注意ラベル.....1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。  
 ※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- |   |  |
|---|--|
| ④ カメラ取付台カバー.....2個                          | ⑨ 落下防止ワイヤー.....1本                          |
| ⑤ カメラ取付台カバー-取付ねじ.....3本<br>(M3X6 mm, 1本は予備) | ⑩ ワイヤ-取付金具固定ねじ.....2本<br>(M3X10 mm, 1本は予備) |
| ⑥ 防水テープ.....1個                              | ⑪ ワイヤ-取付金具.....1個                          |
| ⑦ LANコネクタカバー.....1個                         | ⑫ 前面カバープロテクター.....1個                       |
| ⑧ 4Pアラームケーブル.....1本                         |  |
| ⑬ 2P電源ケーブル.....1本                           |  |
| ⑭ MONITOR OUT変換プラグ*3.....1個                 |  |

※3 本機のオーディオ/モニター出力ケーブルをソフトウェア切り換えでMONITOR OUTとして使用することができます。MONITOR OUT変換プラグはオーディオ/モニター出力ケーブルに接続し、φ3.5 mmステレオミニジャックをRCAピンジャック出力に変換する際にお使いください。



### NTSC/PALスイッチ

- MONITOR OUT端子の出力を、NTSCモニター用/PALモニター用に切り換えることができます。

### メモ

- スイッチを切り換えるときには先の細い非導電性の道具をお使いください。

### INITIAL SETボタン(初期化ボタン)

- 初期化するには本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。
- ①本機の電源を切りめます。PoEハブを使ってご使用の場合はEthernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルのコネクタを外してください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。INITIAL SETボタンを離してから約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

### 重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

### SD ON/OFFボタン

- ①SD ON/OFFボタンを押す(1秒以下)と、SD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカード\*1へのデータ保存が可能になります。
- ②SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)すると、SD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

### SD MOUNTランプ

- SDメモリーカードを挿入して認識できた場合
- SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押す(1秒以下)、保存可能な状態になったとき
- SDメモリーカードに保存できる状態のとき
- SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)してSDメモリーカードを取り出す場合
- SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき

### SD ERROR/AFランプ

- AF(オートフォーカス)実行中
- カメラが起動中
- 正常にSDメモリーカードが認識された場合
- 起動後SDメモリーカードスロット未使用、もしくはSDメモリーカード異常が検出された場合

### ACTランプ

- ネットワークカメラがデータ受信時

### LINKランプ

- 接続機器と通信可能になったとき

消灯→緑点滅→消灯  
消灯→緑点灯

緑点灯  
緑点灯→緑点滅→消灯(録画中)  
緑点灯→消灯(録画待機中)  
消灯

赤点滅(1回/1秒程度)  
赤点灯  
赤点灯→消灯  
赤点灯→赤点灯のまま

緑点滅(アクセス中)

橙点灯

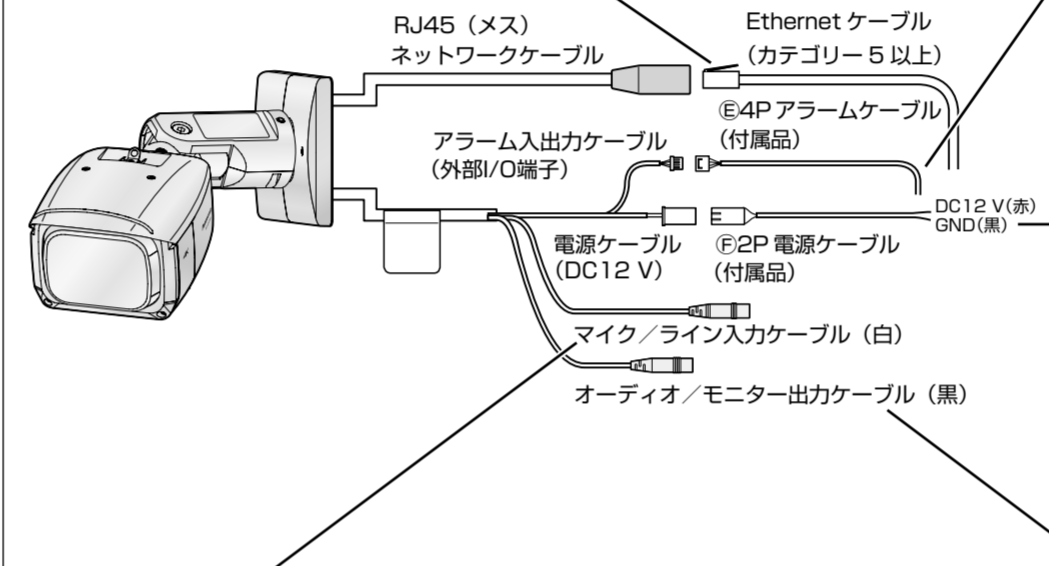
## 接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム(機器)の電源は切ってください。

### Ethernetケーブル(カテゴリ-5以上、ストレート)を接続する

#### 重要

- Ethernetケーブルは4対(8ピンすべて)を使用してください。
- ＜推奨＞パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ(2015年6月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12V電源の両方を接続した場合は、DC12Vが優先されます。\*  
 ※DC12Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され本機が再起動される場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。
- ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機へEthernetケーブル接続するすぐ近くに避雷器を挿入してください。



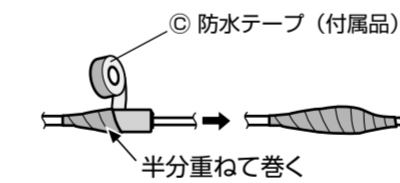
### マイク/ライン入力ケーブルとマイクを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス: 約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長: 1 m未満(マイク入力の場合)、10 m未満(ライン入力の場合)
- 推奨マイク: プラグインパワー方式(別売り)
- ライン入力時入力レベル: 約-10 dBV ●供給電圧: 2.5 V±0.5 V
- 推奨マイク入力感度: -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)

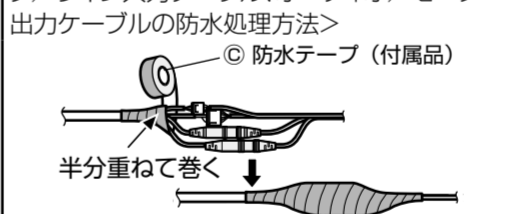
### ケーブル接合部の防水処理について

露出配線ではカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。

#### <ネットワークケーブルの防水処理方法>

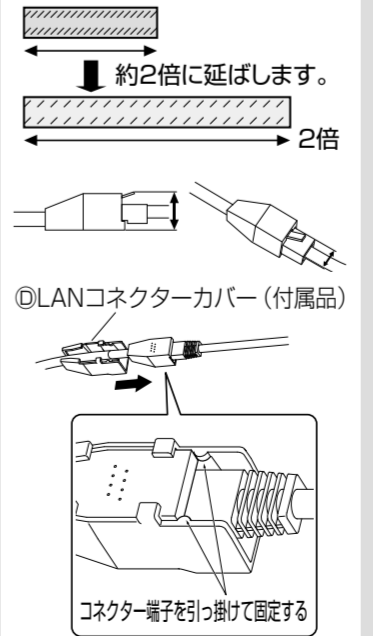


#### <アラーム入出力ケーブル、電源ケーブル、マイク/ライン入力ケーブル、オーディオ/モニター出力ケーブルの防水処理方法>



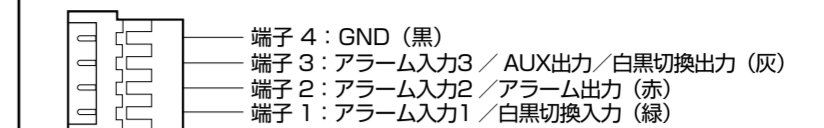
#### 重要

- ②P電源ケーブル(付属品)、および④Pアラームケーブル(付属品)と外部との接続部分も同様に防水処理をしてください。
- テープを約2倍の長さ引き延ばし(右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- ネットワークケーブルのフックが外れないように、挿絵に示すように⑩LANコネクタカバー(付属品)をケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクタには、以下の制限があります。挿入時の高さ(コネクタの底へ返し部): 最大16 mm、コネクタの幅: 最大14 mm
- 屋外に設置するときは接続管などでケーブルの防水処理をしてください。カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水(JIS IP66相当)です。カメラ取付台は防水対応ではありません。



### アラーム入出力ケーブルを接続する

④4Pアラームケーブル(付属品)



#### 定格

- アラーム入力1(白黒切換入力)、アラーム入力2、アラーム入力3  
 入力仕様 : 無電圧メイク接点入力(DC4V~5Vプルアップ内蔵)  
 OFF : オープンまたはDC4V~5V  
 ON : GNDとのメイク接点(必要ドライブ電流1mA以上)
- アラーム出力、AUX出力(白黒切換出力)  
 出力仕様 : オープンコレクタ出力(外部からの最大印加電圧DC20V)  
 OPEN : 内部プルアップによるDC4V~5V  
 CLOSE : 出力電圧DC1V以下(最大ドライブ電流50mA)  
 ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。

#### 重要

- ④4Pアラームケーブル(付属品)は必ず付属品を使用してください。
- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

#### メモ

- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3(アラーム2、3)の設定(Off/アラーム入力/アラーム出力、AUX出力または白黒切換出力(外部出力))については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### 電源ケーブルを接続する

DC12V電源を使用する場合、⑥2P電源ケーブル(付属品)にACアダプター(WV-PS16(別売り)、あるいは市販品)の出力ケーブルを接続します。

電源ケーブル	DC12V
赤	プラス
黒	マイナス

#### 重要

- DC12V電源はAC100Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- ②P電源ケーブル(付属品)は、必ず付属品を使用してください。
- ②P電源ケーブル(付属品)は、電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格(本体底面銘板に表記)を満たすACアダプターを使用してください。

### オーディオ/モニター出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

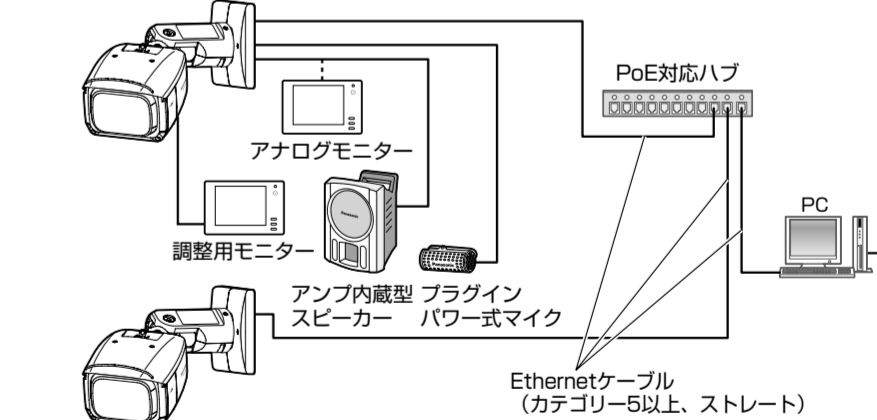
- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。\* ●アンプ内蔵の外部スピーカーを使用してください。
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 10 m未満
- 出力レベル : -20 dBV(モニター出力へ切り換え可能)

#### 重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をOnにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出る場合があります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

### PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



#### <必要なケーブル>

Ethernetケーブル(カテゴリ-5、ストレート)  
 PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル(カテゴリ-5、クロス)をご使用ください。

#### 重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字(カメラIDなど)が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12V電源が必要です。
- DC12V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

## 設置する

設置工事を右の5ステップで説明します。

Step1  
設置工事を始める前に

Step2  
落下防止ワイヤー  
を取り付ける

Step3  
カメラを固定する

Step4  
カメラを調整する

Step5  
カメラを設定する  
(別チラシ参照)

### Step1 設置工事を始める前に

本機を天井や壁面に取り付けるには次の3通りがあり、それぞれの工事に必要なものも前もって準備しておく必要があります。カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付方法	推奨ねじ	最低引抜強度
[1] カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合 (天井裏、壁裏面で接続のスペースがある場合)	M5x4本	724 N {74 kgf}/1本あたり*
[2] スイッチボックスなどに取り付ける場合 ※必ず金属製のスイッチボックスをご使用ください。	M4x4本 <sup>2)</sup>	724 N {74 kgf}/1本あたり*
[3] WV-Q120A(カメラ取付金具:約510 g)(別売り)を使って天井または壁面に取り付ける場合 (天井裏、壁裏面で接続のスペースが無い場合)	M5x4本 <sup>3)</sup>	724 N {74 kgf}/1本あたり*

- \*1 本機を天井または壁面に取り付けるときは、必ずⒺ落下防止ワイヤー(付属品)を取り付ける必要があります。落下防止ワイヤー固定用にM6のボルトナットまたはアンカー(最低引抜強度724 N {74 kgf})を準備してください。
- \*2 座径φ7.5~φ10 mmの平座金付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじをご用意ください。
- \*3 本機をWV-Q120Aに固定するねじ(M5x20 mm)4本はWV-Q120Aに付属されています。取り付け方法は、WV-Q120Aの取扱説明書も参照してください。

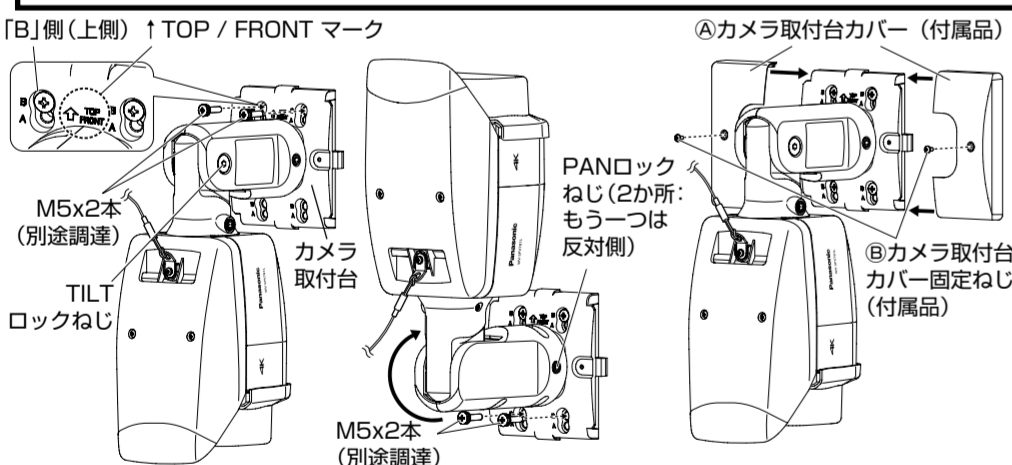
#### 重要

- 上記 [1] ~ [3] の取り付けに使用するねじもしくはアンカーボルトの最低引抜強度は1本あたり724 N {74 kgf} を確保してください。
- ねじの種類は天井または壁面の材質に合わせてご選択ください。木ねじおよびギザは使用しないでください。
- 石膏ボードなど、強度が不十分な天井または壁面に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。
- カメラを設置・調整する際は前面カバーを一旦取り外しますので、水滴などがつかないようにしてください。

### Step2 落下防止ワイヤーを取り付ける

- Ⓔ落下防止ワイヤー(付属品)を  
①ワイヤー取付金具(付属品)の  
ワイヤー取付穴に取り付ける
- Ⓔ落下防止ワイヤー  
(付属品)
- ワイヤー金具
- ①ワイヤー取付  
金具(付属品)
- ワイヤー取付穴

### Step3 カメラを固定する(右上よりつづき)



- [1]-1 TILTロックねじを1回転ほど緩めカメラを下に向けたあとに仮締めし、上側2本のねじ(M5:別途調達)でカメラを固定します。
- [1]-2 PANロックねじ(2か所)を1回転ほど緩めカメラを上に向けたあと、下側2本のねじ(M5:別途調達)でカメラを固定します。
- [1]-3 カメラを下に向けⒶカメラ取付台カバー(付属品)をⒺカメラ取付台カバー固定ねじ(付属品)で取り付けます。推奨締付トルク: 0.6 N・m {6 kgf・cm}

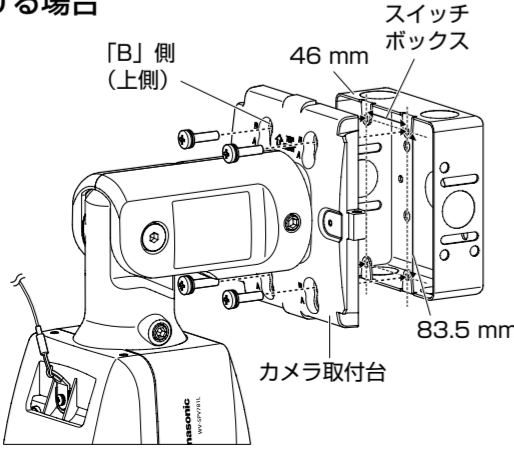
※M5x4本: 最低引抜強度724 N {74 kgf}/1本あたり カメラ取付台[B]側の穴で固定してください。

#### [2] スイッチボックスなどに取り付ける場合

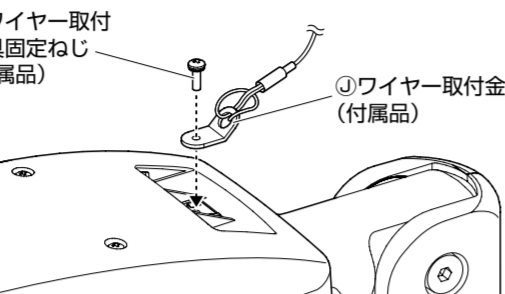
カメラ取付台の[B]側の穴を使って右図のように固定用のねじ(M4x4本:別途調達)でスイッチボックスなどに取り付けます。(最低引抜強度724 N {74 kgf}/1本)

#### メモ

- 接続および固定用のねじの取り付け手順は「[1] カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合」の②③④と同じです。
- スイッチボックスなどを使用する場合、2つ並べて使用することをお勧めします。(片側にカメラを固定し、空きボックス側へ配線すればケーブルの接続が容易になります。)



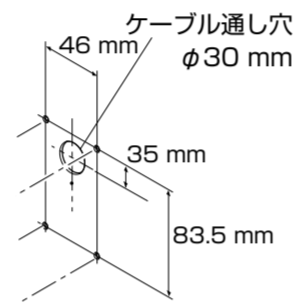
- ②ワイヤー取付金具をカメラに取り付ける
- ①ワイヤー取付金具固定ねじ(付属品)
- ②ワイヤー取付金具(付属品)
- 推奨締付トルク: 0.6 N・m {6 kgf・cm}
- ※以降の挿栓では、落下防止ワイヤー部分は省略しています。



### Step3 カメラを固定する

#### [1] カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

- ①カメラを天井または壁面に取り付け位置を決め、右図に示すような固定用と配線接続用の穴をあけてください。  
※穴径および深さは固定用のねじまたはアンカー(M5ねじx4本:別途調達)の仕様に合わせて決めてください。
- ②「接続のしかた」に従いカメラからのケーブル類と天井または壁面からのケーブル類を接続します。接続部は裏面の「ケーブル接合部の防水処理について」に従って防水処理をします。
- ③左下の[1]-1 から[1]-3の説明図に示す順番に従い、固定用のねじまたはアンカー(M5x4本:別途調達)を、上側2本→下側2本の順にカメラ取付台の「B」側の穴を使って固定します。
- ④Ⓐカメラ取付台カバー(付属品)をⒷカメラ取付台カバー固定ねじ(M3x6 mm:付属品)でカメラ取付台に固定します。



- メモ
- 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。
  - 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。
- 例: 天井に取り付ける場合

#### [3] WV-Q120A(カメラ取付金具)(別売り)を使って天井または壁面に取り付け( WV-Q120Aについては以下Q120Aと省略しています。)

- ※壁面に取り付ける場合を例に説明します。
- ①カメラ取付金具を壁面に固定する。
- 左図に示すような寸法のねじ穴および配線用穴をあける。(ケーブル通し穴を使って側面より接続する場合は、ねじ穴のみをあけてください)
  - カメラ取付金具内部の刻印「TOP」表示を上側に向けてください。
  - 別途調達したねじ4本で、カメラ取付金具を直接壁に固定します。最低引抜強度: 724 N {74 kgf} /1本あたり
  - 屋外に設置するときは、ねじとねじ穴を防水処理してください。

- ②カメラ取付金具にカメラ取付台とカメラを固定する。
- [1]-1を参考にしてカメラを下に向けた後に、カメラ設置補助ねじ(M4x35:Q120A付属品)を使って、カメラ取付金具の左右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を仮取り付けし、開閉できるようにします。
  - カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように固定してください。
  - 左右どちらか近くに壁がある場合は、壁の反対側のヒンジ部に取り付けてください。
  - カメラ取付台はカメラ取付金具のヒンジ部へ次の締付トルクで固定してください。  
推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm}

- ③ケーブル類を接続する。
- 「接続のしかた」に従いカメラからのケーブル類と壁面からのケーブル類を接続します。
  - 接続部は裏面の「ケーブル接合部の防水処理について」に従って防水処理をします。

- ④カメラ取付台をカメラ取付金具に固定する。
- 取付ねじ(M5x20 mm:Q120A付属品)4本でカメラ取付台の「A」側の穴を使い上側2本→下側2本の順にカメラ取付台をカメラ取付金具に固定します。推奨締付トルク: 1.86 N・m {19 kgf・cm} (取り付け方は[1]-1、[1]-2参照)
  - 取付台カバーをⒺ取付台カバー取付ねじ(M3x6 mm:付属品)2本でカメラ取付台に固定します。推奨締付トルク: 0.6 N・m {6 kgf・cm}

### Step4 カメラを調整する ①②③④⑤

- ①カメラ本体の向きを真下から右下図の様に上向きにして仮固定し、カメラ正面の前面カバー固定ねじ4本を緩めて、前面カバーをⒽ前面カバープロテクター(付属品)と一緒にカメラより取り外す。

#### 重要

- 前面カバーとカメラ本体は設置補助ワイヤーとIR LEDケーブルで接続されています。設置補助ワイヤーとIR LEDケーブルは外さないでください。
- Ⓗ前面カバープロテクター(付属品)は前面カバーから外さないでください。

- ②カメラ本体のMONITOR OUT端子にピンケーブル(別途調達)を取り付け、調整用モニターを接続する。

- ③カメラの電源を入れる。

- ④必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。SDメモリーカードは、ラベル面をレンズ側に挿入してください。

- SDメモリーカードを取り外すときは、SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認後、取り出してください。
- SDメモリーカード交換が完了したら、SD ON/OFFボタンを押し(1秒以下)、SD MOUNTランプが点灯することを確認してください。
- SDメモリーカードの交換完了後、SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に、自動的にSD MOUNTランプが点灯します。

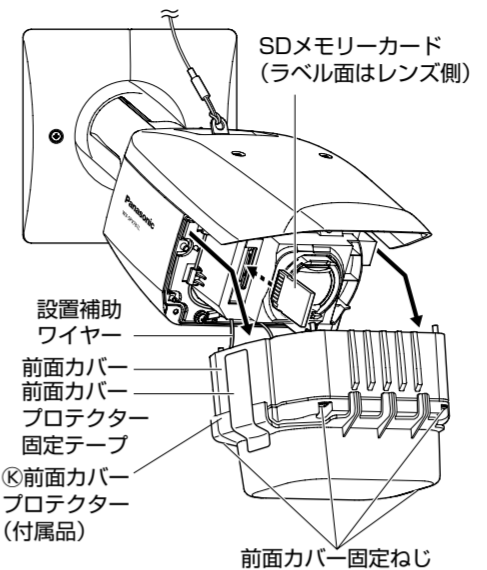
- ⑤カメラの画角を調整する。

- PAN回転部、TILT回転部、YAW回転部でカメラの向きを調整し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角(視野角)に調整します。
- A)カメラアーム部根元の左右にあるPANロックねじ2本を、対辺5 mmの六角レンチ(別途調達)を使って緩めます。カメラを左に向けたときは正面から見て時計回り(+ )に、右に向けたときには反時計回り(-)に回転させます。(PAN回転範囲: ±180°)
- B)カメラアーム中央部にあるTILTロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ(別途調達)を使って緩め、おおその向きを合わせます。(TILT回転範囲: 0° ~ 115°)
- C)カメラが動かない程度にPANロックねじ2本とTILTロックねじを仮締めします。

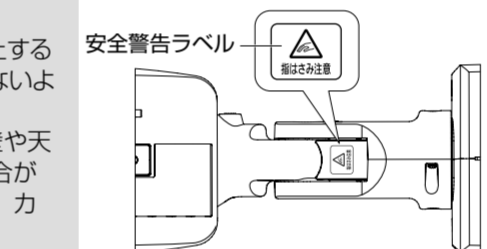
※以降の挿栓では、ケーブル・ワイヤー類を含む前面カバーおよび前面カバープロテクター部分を省略しています。

#### 重要

- TILT角度を変更する際は、指が挟まれるのを防止するため、安全警告ラベル周辺のTILT回転部を触らないようにしてください。
- TILTロックねじ、PANロックねじを緩めると壁や天井に固定する際にカメラ部分が動いてしまう場合があります。そのときは各ロックねじを仮締めし、カメラが動かないようにして作業してください。



※以降の挿栓では、ケーブル・ワイヤー類を含む前面カバーおよび前面カバープロテクター部分を省略しています。



### Step4 カメラを調整する(つづき) ⑥⑦⑧⑨

- ⑥AFボタンを押してフォーカス調整後、調整用モニターを外す。

- ⑦前面カバー部分を取り付ける。

#### 重要

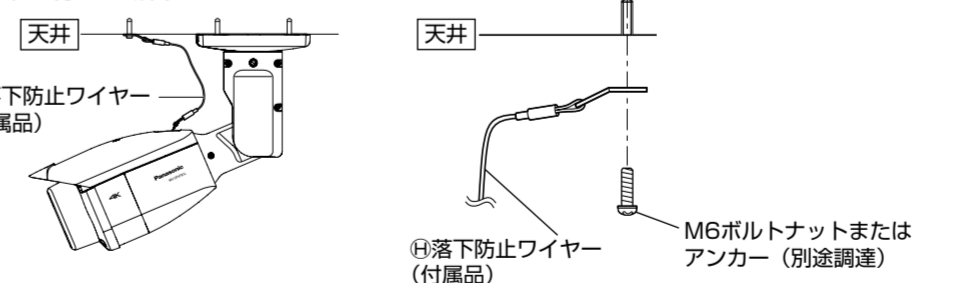
- 前面カバー固定ねじ4本は確実に締めてください。落下や防水不良の原因になります。推奨指定トルク: 0.6 N・m {6 kgf・cm}

#### メモ

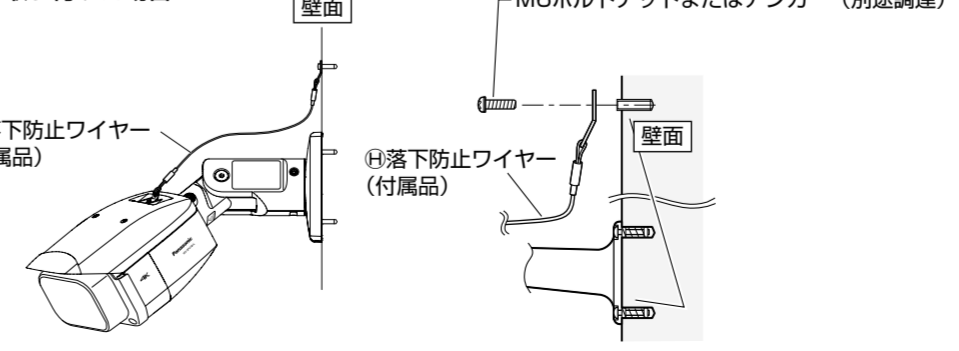
- 前面カバーを閉じるとき、IR LEDケーブルがかみ込まないように注意してください。

- ⑧落下防止ワイヤー(付属品)を天井または壁面に固定する。

#### ■天井に取り付けた場合



#### ■壁面に取り付けた場合



- D)画像調整ロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ(別途調達)を使って緩め、カメラ本体のサンシールド部分が上になるように回転させ、カメラの傾きを調整します。(YAW回転範囲: -115° ~ +200°)
- E) WIDEボタンまたはTELEボタンを押して画角を調整します。
- F) A)~E)を繰り返しながらカメラアングルと画角を調整し、最後にPANロックねじ2本、TILTロックねじ、画像調整ロックねじを締めつけて固定します。  
推奨締付トルク PANロックねじ: 2.7 N・m {27.5 kgf・cm}  
TILTロックねじ: 4.3 N・m {43.8 kgf・cm}  
画像調整ロックねじ: 2.7 N・m {27.5 kgf・cm}

#### 重要

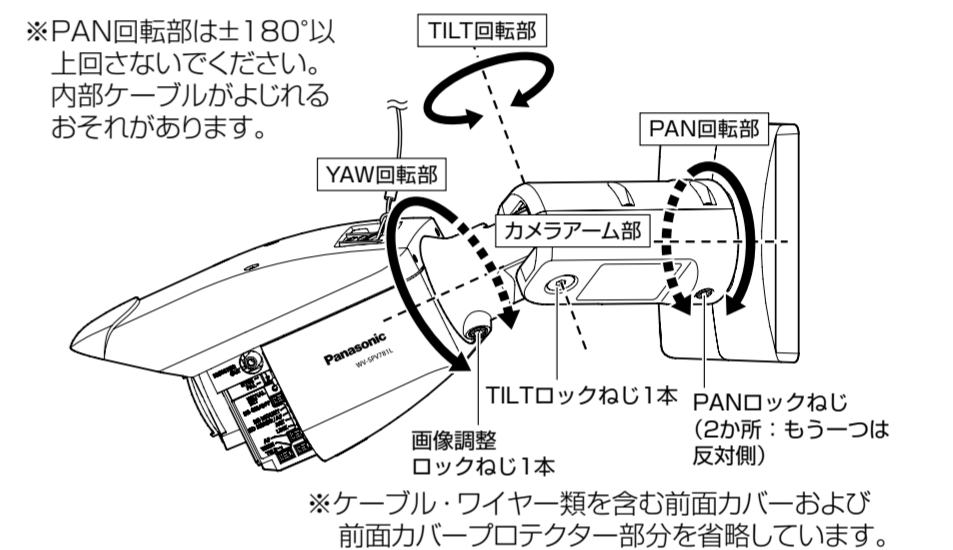
- 調整後、PANロックねじ、TILTロックねじ、画像調整ロックねじを確実に締めてください。

#### メモ

- PANロックねじ、TILTロックねじ、画像調整ロックねじは約1回転緩めれば、調節可能です。必要以上に緩めないでください。
- 各ねじを緩めカメラの向きを調整する場合は、カメラ本体を保持した状態で行ってください。
- WIDEボタン、TELEボタンを使って画面の大きさを調整するとき、カメラのフォーカスは自動フォーカス粗調整機能で都度調整されます。
- 壁に設置する場合は下図のようにPAN、TILT、YAWを回転させてカメラの向きを調整してください。
- 実際に天井や壁面に対して、カメラ本体を向けることができる調整範囲は次のとおりです。

	＜壁設置の場合＞		＜天井設置の場合＞	
	角度	調整箇所	角度	調整箇所
水平	±115°	TILT回転部 <sup>※</sup>	±180°	PAN回転部
垂直	±115°	TILT回転部 <sup>※</sup>	0° ~ 115°	TILT回転部
傾き	-115° ~ +200°	YAW回転部	-115° ~ +200°	YAW回転部

※PAN回転部の調整により水平/垂直を切り替えます。



※ケーブル・ワイヤー類を含む前面カバーおよび前面カバープロテクター部分を省略しています。

#### 重要

- 落下防止ワイヤー固定用M6ボルトナットまたはアンカー(別途調達)の最低引抜強度は724 N {74 kgf} を確保してください。
- Ⓔ落下防止ワイヤー(付属品)は建築物の基礎部分または十分に強度がある部分に固定してください。
- カメラの取付高さ(取り付け後カメラの一番低い部分)が床面から2 m 80 cmより高い位置になるように取り付けてください。
- 壁面設置の場合、Ⓔ落下防止ワイヤー(付属品)はカメラおよびカメラの取り付け位置より高い位置に固定してください。
- 万一本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないようにⒺ落下防止ワイヤー(付属品)を確実に固定してください。

#### ⑨Ⓗ前面カバープロテクター(付属品)を取り外す。

設置完了後、前面カバー表面の前面カバープロテクターを取り外してください。取り外したあとは前面カバーの透明部に触れないでください。

#### 重要

- 前面カバーを取り付けると、ピントが少しずれる場合があります。前面カバーの取り付け、Ⓗ前面カバープロテクター(付属品)を取り外したあとに、設定メニューからオートフォーカス機能を動作させてください。

#### メモ

- カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。
- 設置完了後Ⓗ前面カバープロテクター(付属品)はサービス時のために保管してください。

### Step5 カメラを設定する(別チラシ参照)

カメラの設置完了後、付属の「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。